

県内事業者の皆様へ

夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします！

(VOCとは塗料・インキ・洗浄剂等、溶剤中に含まれる成分です。)

夏季は気温が高く

特に有機溶剤が蒸発しやすい環境です。

神奈川県では平成25年度より、夏季(6~9月)におけるVOC対策を近隣都県市と連携して実施しています。こまめなフタ閉め等、下記の基本的な対策から今一度見直してください。ご協力よろしくお願いたします。(なぜ夏季か?裏面をご参照ください。)

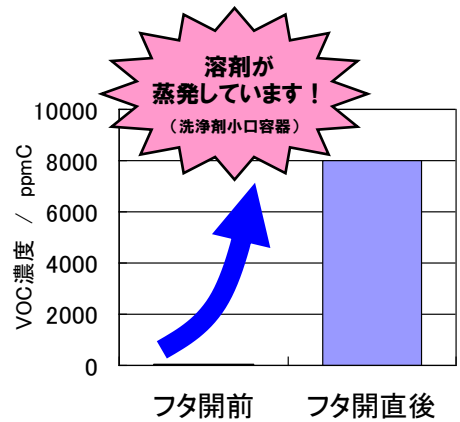
こまめにフタ閉めを行いましょう(作業環境の改善・原材料費削減につながります)



溶剤の蒸気

(赤外線センサーでフタ開放時の一斗缶撮影)

フタを開放しているだけで溶剤は蒸発しています！
必要なとき以外は、フタをしっかりと閉めましょう。



洗浄槽のフタ閉め！

洗浄槽のフタをすると蒸発量が1/2~1/4程度まで減ります。
(東京都VOC対策ガイド(工場内編)より)



容器のフタ閉め！

フタ開放で8時間に60gの溶剤が蒸発します。
(日本印刷産業連合会 印刷産業におけるVOC排出抑制自主的取組推進マニュアルより)



廃棄物容器の密閉！

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉しましょう。「VOC拡散防止のため必ずフタをすること」等の張り紙をするとより効果的です。

低VOC製品を選びましょう

《印刷》低VOC洗浄剤

印刷業界の制度であるGP資機材認定制度では、低VOC洗浄剂等環境に配慮した資機材を登録しています。



《塗装》ハイソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC排出量を3~6割程度まで抑制できます。

《めっき・金属表面洗浄》水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度の基準を見直し、水系洗浄剤へ代替することで、VOC排出量を5割以上抑制できます。

なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC※1(有機溶剤など)は、
光化学オキシダントやPM2.5の
生成原因の一つです。

※1 Volatile Organic Compounds

(揮発性有機化合物)



《光化学オキシダントの生成》



VOCには、塗料やインキに使われるトルエン、金属や機器の洗浄に使われるトリクレン(トリクロロエチレン)、塩化メチレン(ジクロロメタン)等があります。VOCは蒸発しやすく、大気に出ていくとNO_x(窒素酸化物)とともに太陽光を受けて光化学オキシダントを生成します。光化学オキシダントは、目や喉への刺激等の人的被害だけでなく、農作物等の植物被害も引き起こします。

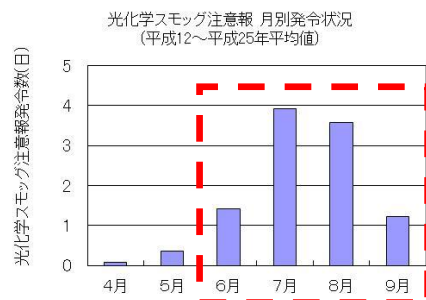
また、VOCはPM2.5(微小粒子状物質)、SPM(浮遊粒子状物質)の生成原因にもなります。

夏季におけるVOC排出削減の重要性

光化学スモッグ注意報※2は

夏季に多く発令されます。

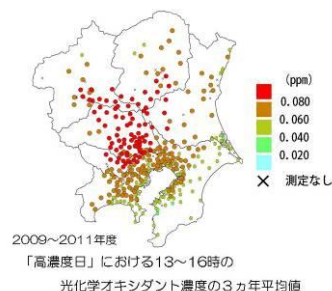
※2 光化学オキシダントが高濃度(120 ppb)となり、その継続が見込まれる場合に発令



光化学オキシダントが高濃度になりやすい気象条件は、①最高気温が25℃以上 ②日照があること ③東京湾や相模湾から海風の進入があること、等があります。これらの条件が揃う、夏季にVOCの排出を抑えることは特に重要です。

夏季における光化学オキシダントは、

広い範囲で高濃度になります。



高濃度の光化学オキシダントが広い範囲で発生することから、神奈川県は、埼玉県・千葉県・東京都・さいたま市・千葉市・横浜市・川崎市・相模原市と連携して夏季のVOC排出削減を呼びかけています。(平成24年度より実施)

神奈川県 環境農政局 環境部 大気水質課 大気環境グループ
【住所】 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 新庁舎4階
【電話】 045-210-4111(直通) 【FAX】 045-210-8846
【HP】 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7009/>